

本校は今年度、開校65周年という節目の年を迎えました。

昭和34年4月1日、中村西小学校は中村小学校より独立し、練馬区第31番目の小学校として児童数525名でスタートとしました。草創のころ、地域の方や教職員は子供たちが自然の中で情趣豊かに育ててほしいと願い、土の山や岩石園、野草園を築いてくださったそうです。今でも、その願いは受け継がれ、子供たちは休み時間や放課後、中西山を駆け回っており、憩いの場となっています。

また、その翌年、制定された校章には次のような願いが込められています。

練馬区立中村西小学校の校章

【由来】

大きな柏の葉の中に、3つのドングリと「西」の文字がかたどられています。地域と共に発展する学校、中西小の子供のやさしさと力強さをあらわしています。



そして、開校45周年を迎えた年に、本校のキャラクター「なかにしよいちゃん」が誕生しました。その後、学校応援団では「ひろばのよいちゃん」として活躍したり、数々の研究発表会でも案内役として活躍したりしました。開校60周年では、晴れて中西小の公式キャラクターとなり、学校の様々な場所や発行物でも見られるようになりました。

本校の教育目標は、**な** **か** **むら** **に** **し**小学校の4つの文字をとって、

なかよく

自他の人格を尊重し、助け合って生活できる子供を育てます

かしこく

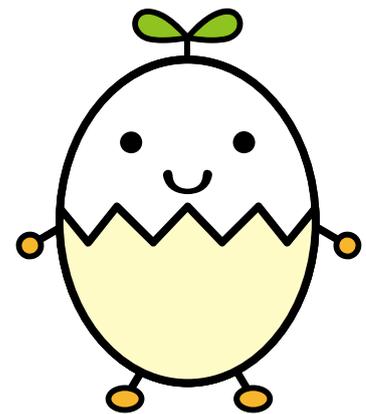
学習に主体的に取り組み、よく考え解決しようとする子供を育てます

にこにこ

豊かな情操をそなえ、誰に対しても分け隔てなく接することができる子供を育てます

しなやか

心身を鍛え、健康な体づくりに努力する子供を育てます



なかにしよいこ

と設定しています。そして、この教育目標を達成するために、

なかよし なかにしを学校の合い言葉として日々の教育活動を進めています。児童・教職員・保護者・地域の皆さんがいつでもどこでもなかよく協力し合うことができる学校にしていきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。